

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市聴覚言語障害センターの運営について

当センターは、昭和 53 年に、聴覚言語障害のある市民の総合福祉施設として、地域生活における相談や、社会参加の支援機能、また入所者施設において重度の障害ある市民の利用先を確保することを目的として開設されました。現在、聴覚・言語に障害を持つ方々の人として豊かな暮らしや社会参加を実現できるよう支援に取り組んでいます。

### 若木寮の収入と支出

総額 0.9 億円

<支出> 利用者 1 人当たりの運営経費 6,520 円 (A)

人件費 4,690 円 (73%)	事業費 1,600 (25%)	就労支援 事業費 90 円 (1%)	その他 (少額 修繕費等) 140 (1%)
----------------------	--------------------	-----------------------------	------------------------------

<収入> 総額 0.17 億円

利用者 1 人当たりの収入 1,260 円 (B)

総額 0.73 億円

利用者負担金 860 円 (13%)	就労支援 収入 90 円 (1%)	その他 310 円 (5%)
--------------------------	----------------------------	----------------------

(A) - (B)

**差額 5,260 円**

(81%)

### 会館管理の収入と支出

総額 0.1 億円

<支出> 利用者 1 人当たりの運営経費 350 円 (A)

事務費 320 円 (92%)	修繕費 30 円 (8%)
--------------------	------------------

<収入> 総額 0.09 億円

利用者 1 人当たりの収入 30 円 (B)

総額 0.91 億円

(A) - (B)

**差額 320 円**

(91%)

その他 30 円 (9%)
------------------

